

何色で作ろうかな…どんな感じに作ろうかな…

作成日：2025年1月28日

対象児：5歳児ふじ組

作成者：吉岡愛佳

ねらい：自分の思い描く作品を作りながら、友達と協力して製作を楽しむ。



～ふりかえり～

3学期に入り、作品展の製作に取り組んでいます。自分の作りたい動物を資材や新聞紙で作り、白紙を貼った上から色を塗りました。下の新聞が見えないように白紙を貼るのですが、地道な作業で時間もかかる為「まだかなあ」「もういいかなあ」と気持ちがしんどくなってきている姿も見られたのですが、とっても上手に形を作っているふじ組のみんなだったので、「新聞見えない方がもっとかっこいいよ!」「新聞もかくれんぼしよう!」と声をかけてみました。すると、子ども達同士で「ここかくれんぼできてないで!」「見えよる!」とお互いに貼れているか確認しながら製作を進める姿が見られました。

作品展の製作では絵の具を使うことが多く、自分の使いたい色がチューブにないこともあり、「水色ない!」「ピンクない!」「肌色ない!」と言葉にする姿も多く見られました。何色を混ぜるとどんな色になるのか、欲しい色でなく間違えていたとしても自分で知って欲しいなと思ったので、「何色混ぜてみる?」「どんな色が肌の色に近いかな?」と声をかけて一緒に考えることをしました。オレンジ色に白を混ぜるのかなと思っていましたが黄土色に白を混ぜて肌色を作る姿も見られ、その後、友達にも「○色と○色混ぜたら○色になるで!」と友達と情報共有する姿が見られました。自分の思い描く作品を作ったり、友達と協力したりすることが出来たのではないかなと思いました。自分で発見したり新しいことに気付ける活動ができたらいいなと思います。

(自立心、協同性、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)